

作成番号:0322

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

号数:2025-322

内容:ヘリコバクター・ピロリ菌除菌後の胃がんリスクは？日本人での検討

Gastric cancer risk after *Helicobacter pylori* eradication in gastritis and peptic ulcer: a retrospective cohort study in Japan.

BMC gastroenterology. 2025 Jul 01;25(1);463. pii: 463.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/40596880/>

Helicobacter pylori(*H. pylori*)感染は胃がんの主要なリスク因子で、わが国では 2013 年から *H. pylori* 関連胃炎に対する除菌治療が保険適用に追加された。胃がん罹患率はかなり減少したが、2023 年のがん死亡原因で胃がんが第 4 位である。今回、自治医科大学の研究者らは、*H. pylori* 関連胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍の患者における *H. pylori* 除菌後の胃がんリスクの違いを大規模後ろ向きコホートで調査し、BMC Gastroenterology 誌 2025 年 7 月 1 日号に掲載した。

約 1,700 万人の保険請求データベースである JMDC Claims Database を用いた大規模後ろ向きコホート研究である。2013 年 2 月 21 日～2023 年 8 月 31 日 *H. pylori* の 1 次除菌を受け、その処方初日と同月または前月に *H. pylori* 関連胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍と診断されていた患者を対象とした。主要評価項目は胃がん発症率で、ハザード比(HR)は Cox 比例ハザード回帰分析で推定し、交絡の影響を最小化するために傾向スコアマッチングを行った。148,489 例が組み入れられ、*H. pylori* 関連胃炎の十二指腸潰瘍に対する HR は 2.03 (95%信頼区間[CI]:1.31～3.13、 $p=0.001$)、胃潰瘍の十二指腸潰瘍に対する HR は 2.37 (95%CI:1.52～3.71、 $p<0.001$)といずれも有意差がみられた。

H. pylori 関連胃炎と胃潰瘍の患者は十二指腸潰瘍患者よりも胃がんリスクが高く、*H. pylori* 除菌後も胃萎縮が胃がんリスク因子として残ることが示唆された。高リスク患者では、*H. pylori* 除菌成功後も内視鏡検査などの慎重なモニタリングが必要である。

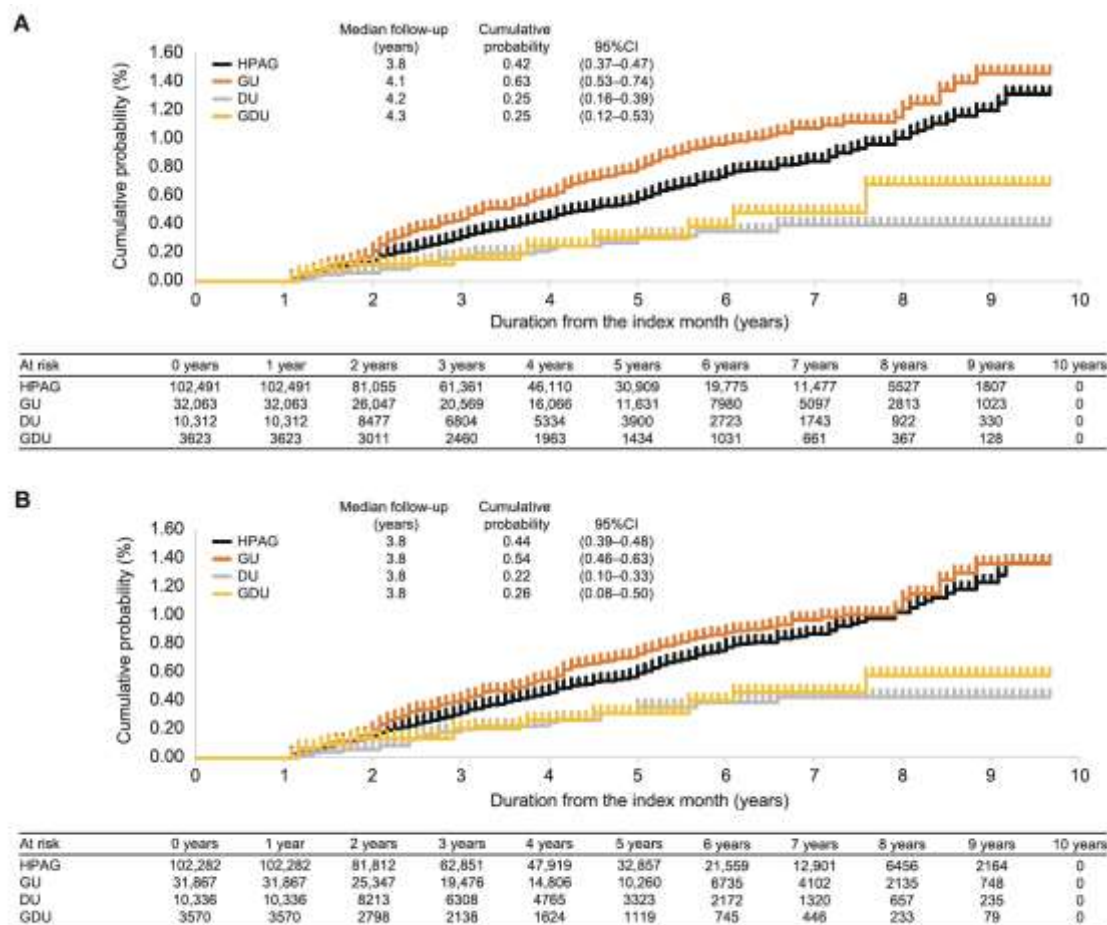


Fig. 3 Cumulative probability of development of gastric cancer. (A) Crude cohort. (B) Weighted cohort. CI, confidence interval; DU, duodenal ulcer; GDU, gastric ulcer and duodenal ulcer; GU, gastric ulcer; HPAG, *Helicobacter pylori*-associated gastritis